

阿蘇神社を飾る

大しめ縄伝承会の力作

阿蘇神社の楼門と拝殿に飾られている立派な大しめ縄。これは、一の宮町大しめ縄伝承会(会長小代勝久さんほか16人)の皆さんが毎年奉納されているもので、胴回り1.75m、長さ7mあります。12月12日、この120kgもの大しめ縄の付け替え作業が行われ、修復工事が完了したばかりの楼門が、さらに美しく映えました。



◀しめ縄の付け替え作業を行うメンバー
2時間以上かかる大仕事です。



▶作業の様子。

保存会はこのほか大・中25本の大しめ縄を製作し、国造神社やJR宮地駅、坂梨馬場八幡宮などにも寄贈されています。

この匠の業は、使用するワラからこだわりを持ち、作業は8月から開始。もち米のワラを青刈りし乾燥させ、手作業で一つひとつ進めます。納期がせまると毎日のように作業所に通う皆さん。このボランティア活動に対しては平成10年国務大臣・総務庁長官表彰が贈られています。23年の伝統ある取り組みです。



大きな年賀状

リゾートホテル阿蘇いこいの村(蔵原)の広場一面に芝絵が完成しました。

これはお客様へ初春のプレゼントにと職員の小野年成さんが11年前から製作を始めたもので、今年阿蘇市誕生1周年を記念し「あそ市初春おめでとうワン」とのメッセージ入り。干支の戌をセントバーナードで愛嬌よく表現しました。縦48m、横50mの大きさです。製作は下絵を描いた後、バーナーで丁寧に芝を焼きます。この大きな絵を小野さんは3~4日間で完成させるというから驚きです。なお、この芝絵は3月半ばまで見ることが出来ますので、ぜひ、ご覧ください。



肥後ちゃんかけごま保存会を招いて 公民館活動

町区公民館(山口澄雄館長)と子ども会主催恒例のクリスマス会が、12月4日、催されました。

今年熊本県の伝統文化である肥後ちゃんかけごま保存会を招いて伝統文化の体験を企画。

「も〜い〜くつ寝るとお正月…」の歌に合わせ巧みに紐を操りながら登場した保存会5人に、子どもたちは釘付け。20cmほどのコマを6m飛ばす技など次々に披露しました。実際にちゃんかけごまの回し方も子どもたちに伝授。コマから昔の遊びが思い出されたのか、全員で昼食のカレーライスを囲みながら懐かしい話で盛り上がりました。

